

## 日本音楽理論研究会第 39 回例会のお知らせ

日本音楽理論研究会は、昨年からはじめてオンライン例会にチャレンジしました。こうした活動を継続することは非常に意義あることと考え、本年度例会もオンライン例会を開催いたします。

今回は、前回第 38 回例会の続編として、最初に、クロード・レヴィ＝ストロースに関する発表と、PC セット理論第 4 回目＋パルトーク《弦楽四重奏曲第 4 番》第 1 楽章＋シェーンベルク《架空庭園の書》作品 15 の分析です。奮ってご参加ください。

### ◆◆◆ 日本音楽理論研究会第 39 回例会 ◆◆◆

日時： 2022 年 10 月 2 日(日) 13:00－18:00 Zoom によるオンライン開催

参加方法： [dolcecanto2003jp@yahoo.co.jp](mailto:dolcecanto2003jp@yahoo.co.jp) に、以下の内容のメールを送信された方に Zoom の URL を返信いたします。

- ・メールのタイトルに、「日本音楽理論研究会第 39 回例会参加希望」とご記入ください。(メールの見落としを防ぐために)
- ・メールの内容に、「お名前、所属(があれば)、メールアドレス」をご記入ください。
- ・初参加の方は、簡単な自己紹介、およびどのように本研究会をお知りになったか必ずご記入ください。
- ・申し込み期限： 2022 年 10 月 1 日(土)23 時(日本時間)厳守でお願いいたします。

参加費： オンライン試行のため、前回に続き、今回も無料とします。

※ 注意：

- ・Zoom の接続に関しては、こちらではサポートできません。
- ・途中参加および途中退出は自由です。
- ・質疑応答時に発言希望される方は、チャットに「お名前」を書きこんでください。時間の許す限り、司会から指名させていただきます。なお、発言は 1 分以内で簡潔にお願いいたします。

### ◆ プログラム ◆

※ 以下におよその時間配分を記載していますが、流れによって大幅に変更される可能性があります。

※ 発表要旨の詳細は、日本音楽理論研究会ホームページに掲載します。

※ 例会の発表内容は後日、「日本音楽理論研究会通信」(2022 年 11 月発行予定)で報告します。

開会宣言 (13:00-)

★ 発表 1 (13:10-13:40) 質疑応答 (13:40-13:50)

川崎瑞穂：「神話素 *mythème*」分析のスズメーオペラとアニメを「神話」として「読む」—

クロード・レヴィ＝ストロース(1908～2009)が神話の研究で提示した「神話素 *mythème*」の発想は、現在でも様々な分野で応用可能である。例えば、オペラ『蝶々夫人』(1904 年初演)とアニメ『君が望む永遠』(2003 年)には、どちらも「丘」という重要なモチーフがあり、それぞれは作品内において、物語の有機的連関を形成する重要な役割を担っている。本発表は、レヴィ＝ストロースがオペラを観るように、あるいは音楽を聴くように神話を讀んだことに倣い、神話を讀むように、あるいは音楽を聴くように、オペラとアニメを讀み込む試みである。

== 特集 == PC セット理論について Part4 ——バルトーク《弦楽四重奏曲第 4 番》第 1 楽章＋シェーンベルク《架空庭園の書》作品 15 の分析——

※ 分析対象作品の楽譜は以下のサイトから入手可能です。

IV. vonósnégyese Sz. 91, BB 95 (Bartók Béla)

[https://imslp.org/wiki/String\\_Quartet\\_No.4%2C\\_Sz.91\\_\(Bart%C3%B3k%2C\\_B%C3%A9la\)](https://imslp.org/wiki/String_Quartet_No.4%2C_Sz.91_(Bart%C3%B3k%2C_B%C3%A9la))

Das Buch der hängenden Gärten, Op.15 (Arnold Schönberg)

[https://imslp.org/wiki/Das\\_Buch\\_der\\_h%C3%A4ngenden\\_G%C3%A4rten%2C\\_Op.15\\_\(Schoenberg%2C\\_Arnold\)](https://imslp.org/wiki/Das_Buch_der_h%C3%A4ngenden_G%C3%A4rten%2C_Op.15_(Schoenberg%2C_Arnold))

※ 分析対象作品の演奏は以下のサイトで試聴できます。

IV. vonósnégyese Sz. 91, BB 95 (Bartók Béla)

[https://www.youtube.com/results?search\\_query=bart%C3%B3k+string+quartet+no.+4](https://www.youtube.com/results?search_query=bart%C3%B3k+string+quartet+no.+4)

Das Buch der hängenden Gärten, Op.15 (Arnold Schönberg)

[https://www.youtube.com/results?search\\_query=Sch%C3%B6nberg+Das+Buch+der+h%C3%A4ngenden+G%C3%A4rten](https://www.youtube.com/results?search_query=Sch%C3%B6nberg+Das+Buch+der+h%C3%A4ngenden+G%C3%A4rten)

★ 発表 2 (13:50-14:20) 質疑応答 (14:20-14:30)

見上潤： バルトークの音楽語法 ——バルトーク《弦楽四重奏曲第 4 番》(1928)第 1 楽章の場合——

バルトークの作曲技法は、ハンガリーの音楽学者レンドヴァイ・エルネーによって、黄金分割の理論の形式および垂直の音程関係への応用、倍音列音階、中心軸システムだとされてきたが、現在、その妥当性には疑義が生じている。あらためて作品それ自体を様々な観点から分析し直す必要がある。

本発表は、《弦楽四重奏曲第 4 番》(1928)第 1 楽章を対象を限定し、以下の問題を提起する。

1. ソナタ形式か？ 2. トーン・クラスターの多用はヘンリー・カウエルの影響か？ 3. トリコルドの多用は、民謡の影響か？ 4. オスティナートが絡み合うテクスチャーは、ミニマル・ミュージックの先駆か？ 5. 島岡譲のゆれ理論を適用は可能か？

★ 発表 3 (14:30-15:00) 質疑応答 (15:00-15:10)

川本聡胤： PC セット理論(4)——概念的基盤をめぐって——

無調音楽を分析するために発展してきた PC セット理論について紹介するシリーズの第4回目として、本発表では前回に引き続き、PC セット分析の初歩的概念、すなわち PC セット、ノーマルフォームとその移置や転回、それにセットクラスやプライム・フォームについて考察する。前はこれらの概念の紹介にとどめたが、今回はそれらの意義について、バルトークの弦楽四重奏曲第4番冒頭楽章の分析を例に、考察を深める。そもそもノーマルフォーム、セットクラス、プライムフォームとはそれぞれ何を解明するためのものなのか、ひいては PC セット理論とはなんのためのものなのか——といったことに、思考を巡らせることで、次回以降の発展的な考察の基盤を形成したい。

休憩 20 分 (15:10-15:30)

★ 発表 4 (15:30-16:00) 質疑応答 (16:00-16:10)

見上潤: 調的か無調的か? さあ言ってみるがよい —シェーンベルク《架空庭園の書》作品 15 (1908-09)の分析—

ある作品が「調性」か「無調性」かの客観的な判定は、聴取の「馴染みにくさ」、古典的和声法の「適用しがたさ」を感受することが可能であるとはいえ困難を伴う。もし「調性」と「無調性」を一個のスペクトラム＝連続体として考えるならば、一般に、「調性」から「無調性」の移行期、すなわち、前回発表で「白熱時代」と名付けた第 1 次世界大戦前夜の作品群の具体的な作品分析は極めて重要である。本発表は、まさにこの時代に作曲されたシェーンベルク《架空庭園の書》作品 15 を分析することによって、この時代の一断面を明らかにする。

★ 発表 5 (16:10-16:40) 質疑応答 (16:40-16:50)

川本聡胤: シェーンベルク『架空庭園の書』第 11 曲ほか

PC セット理論においては、ピッチセットとピッチクラスセットとが区別される。本発表では、これらを区別して楽曲分析することによって、音楽の何がわかるのかについて考察する。例として、シェーンベルクの『架空庭園の書』第 11 曲やその他を取り上げ、実際に分析を行う。デヴィッド・ルーインやジョゼフ・ストラウスらによる先行研究を参照しつつも、オリジナルな分析を示したい。それを通して、ピッチセットをピッチクラスセットに還元することで初めて見えてくる楽曲の重要な構造の存在について、考察を加える。また、今回は時間の都合で発表できなかった内容を盛り込み、大幅にアップデートした分析を行いたい。

休憩 10 分 (16:50-17:00)

★ ラウンドテーブル (17:00-18:00)

\*\*\*\*\* 今後の例会の予定(発表者募集中) \*\*\*\*\*

※ 注意: 日程・時間・内容等、変更になる場合がありますので、最新情報はホームページでご確認ください。

★ 第 40 回例会 2023 年 5 月 14 日(日) 詳細未定

★ 第 41 回例会 2023 年 10 月 1 日(日) 詳細未定

\*\*\*\*\*  
日本音楽理論研究会事務局(本部) Secretariat of THE SOCIETY FOR MUSIC THEORY OF JAPAN

HP: <http://sound.jp/mts/> TEL & FAX: 097-545-4374 Email: [endo@oita-pjc.ac.jp](mailto:endo@oita-pjc.ac.jp)

〒870-0833 大分市上野丘東 1-11 大分県立芸術文化短期大学音楽科 遠藤研究室気付

日本音楽理論研究会東京事務局 Tokyo office of THE SOCIETY FOR MUSIC THEORY OF JAPAN

Email: [dolcecanto2003jp@yahoo.co.jp](mailto:dolcecanto2003jp@yahoo.co.jp) (見上潤 Mikami Jun)

\*\*\*\*\*